

平成23年1月1日～平成28年8月31日までに
糖尿病治療薬（DPP4阻害剤）内服後に自己免疫性水疱症と診断された患者さんへおしらせ

課題名：DPP4阻害剤関連自己免疫性水疱症の実態調査

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、平成23年1月1日から平成28年8月31日の間に、附属病院または附属川崎病院において糖尿病治療薬（DPP4阻害剤）内服後に自己免疫性水疱症と診断された患者さんについて診療録を用いて病態と治療経過を解析し厚生労働省の難治性疾患等政策研究事業（難治性疾患政策研究事業）稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究班で検討するために、調査を実施します。

対象となる糖尿病治療薬は
グラディブ錠、ジャヌビア錠、エクア錠、ネシーナ錠、トラゼンタ錠、テネリア錠、スイニー錠、
オングリザ錠、ザファテック錠、マリゼブ錠、リオベル錠、エクメット錠となっています。

研究期間は、倫理委員会承認日から平成30年3月31日までの予定です。

治療介入を伴わない診療録のみを用いた後方視的研究であるため、期間外の情報個人は収集致しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究は厚生労働科学研究費補助金「稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究」用いて行う研究です。当教室は、田辺三菱製薬（株）、鳥居薬品（株）、マルホ（株）、（株）カネボウ化粧品より奨学寄附金の受け入れがありますが、利益相反委員会に申告を行い、適正に管理されています。なお4社とも本研究とは直接関係のない企業です。

本研究に対象となる患者さんで、本研究に参加を希望されないかたは平成28年10月31日までに拒否の意思を下記まで御連絡ください。この期間以降は解析が開始されますので、患者さんの情報を削除する事が出来なくなります。

研究に関してご質問のある方は、いつでも下記までご一報下さいますようお願い致します。

【問い合わせ先】

担当者：所属 皮膚科学 職名 教授 氏名 青山 裕美

TEL：086-225-2111

FAX：086-232-8343